

ダイワ・オーストラリア 高配当株α（毎月分配型）

株式αコース
通貨αコース
株式&通貨ツインαコース

運用報告書（全体版）

第102期（決算日 2021年 8月17日）
第103期（決算日 2021年 9月17日）
第104期（決算日 2021年10月18日）
第105期（決算日 2021年11月17日）
第106期（決算日 2021年12月17日）
第107期（決算日 2022年 1月17日）

（作成対象期間 2021年7月20日～2022年1月17日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年1月23日～2023年1月17日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	株式αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	通貨αコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	株式&通貨ツインαコース	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、予想配当利回りの高いオーストラリア株式へ投資するとともに、オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5747>
<5748>
<5749>

株式αコース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200 指 数 (円 換 算)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
78 期末(2019年 8 月19日)	4,009	60	△ 7.7	10,328	△ 8.4	—	98.4	205
79 期末(2019年 9 月17日)	4,260	60	7.8	11,074	7.2	—	98.5	219
80 期末(2019年10月17日)	4,140	60	△ 1.4	11,112	0.3	—	98.3	208
81 期末(2019年11月18日)	4,186	40	2.1	11,266	1.4	—	98.2	211
82 期末(2019年12月17日)	4,244	40	2.3	11,527	2.3	—	98.3	210
83 期末(2020年 1 月17日)	4,284	40	1.9	11,973	3.9	—	98.3	194
84 期末(2020年 2 月17日)	4,095	40	△ 3.5	11,749	△ 1.9	—	99.0	186
85 期末(2020年 3 月17日)	2,570	40	△36.3	7,275	△38.1	—	98.2	116
86 期末(2020年 4 月17日)	2,698	40	6.5	8,319	14.4	—	98.0	122
87 期末(2020年 5 月18日)	2,703	40	1.7	8,320	0.0	—	98.4	123
88 期末(2020年 6 月17日)	3,079	40	15.4	9,807	17.9	—	97.7	142
89 期末(2020年 7 月17日)	3,163	40	4.0	10,060	2.6	—	98.3	144
90 期末(2020年 8 月17日)	3,233	40	3.5	10,483	4.2	—	98.7	147
91 期末(2020年 9 月17日)	3,177	40	△ 0.5	10,171	△ 3.0	—	99.2	138
92 期末(2020年10月19日)	3,125	40	△ 0.4	10,327	1.5	—	97.8	135
93 期末(2020年11月17日)	3,246	40	5.2	11,084	7.3	—	98.3	140
94 期末(2020年12月17日)	3,358	40	4.7	11,695	5.5	—	99.5	139
95 期末(2021年 1 月18日)	3,434	40	3.5	11,985	2.5	—	98.3	143
96 期末(2021年 2 月17日)	3,557	40	4.7	12,699	6.0	—	98.0	141
97 期末(2021年 3 月17日)	3,616	40	2.8	12,879	1.4	—	99.2	143
98 期末(2021年 4 月19日)	3,682	40	2.9	13,236	2.8	—	98.2	146
99 期末(2021年 5 月17日)	3,697	40	1.5	13,318	0.6	—	98.2	145
100期末(2021年 6 月17日)	3,735	40	2.1	13,918	4.5	—	98.3	146
101期末(2021年 7 月19日)	3,604	40	△ 2.4	13,302	△ 4.4	—	98.4	140
102期末(2021年 8 月17日)	3,567	40	0.1	13,558	1.9	—	97.7	119
103期末(2021年 9 月17日)	3,444	40	△ 2.3	13,343	△ 1.6	—	98.0	107
104期末(2021年10月18日)	3,546	40	4.1	13,929	4.4	—	98.1	109
105期末(2021年11月17日)	3,491	40	△ 0.4	13,875	△ 0.4	—	99.1	109
106期末(2021年12月17日)	3,403	40	△ 1.4	13,322	△ 4.0	—	98.9	104
107期末(2022年 1 月17日)	3,415	40	1.5	13,624	2.3	—	97.9	105

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

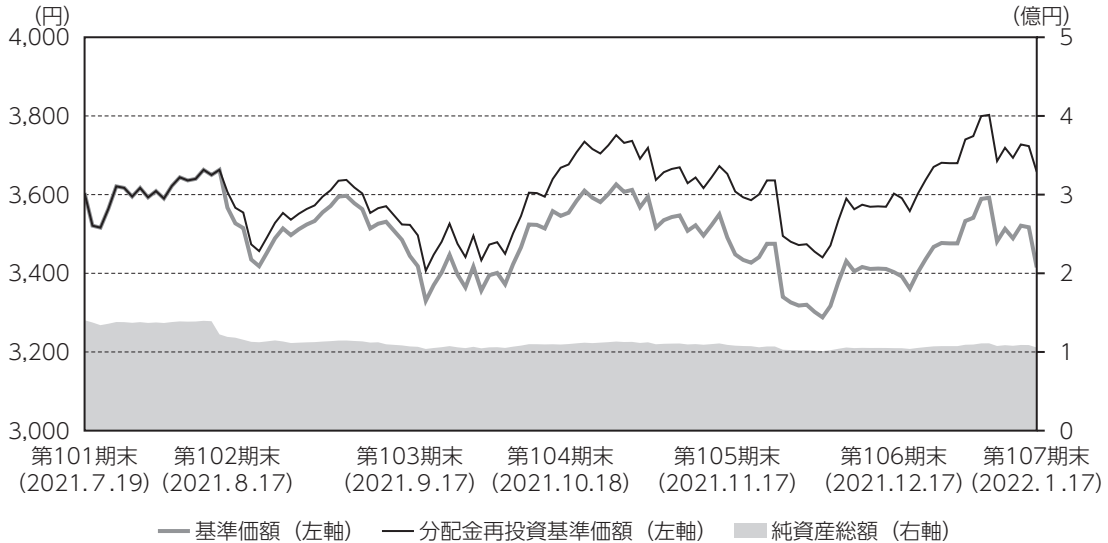
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第102期首：3,604円

第107期末：3,415円（既払分配金240円）

騰 落 率：1.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。しかし株式オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (円換算)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第102期	(期首)2021年 7 月19日	円 3,604	% －	13,302	% －	% －	% 98.4
	7 月末	3,617	0.4	13,404	0.8	－	98.3
	(期末)2021年 8 月17日	3,607	0.1	13,558	1.9	－	97.7
第103期	(期首)2021年 8 月17日	3,567	－	13,558	－	－	97.7
	8 月末	3,524	△1.2	13,447	△0.8	－	98.0
	(期末)2021年 9 月17日	3,484	△2.3	13,343	△1.6	－	98.0
第104期	(期首)2021年 9 月17日	3,444	－	13,343	－	－	98.0
	9 月末	3,364	△2.3	12,941	△3.0	－	97.7
	(期末)2021年10月18日	3,586	4.1	13,929	4.4	－	98.1
第105期	(期首)2021年10月18日	3,546	－	13,929	－	－	98.1
	10 月末	3,612	1.9	14,213	2.0	－	97.9
	(期末)2021年11月17日	3,531	△0.4	13,875	△0.4	－	99.1
第106期	(期首)2021年11月17日	3,491	－	13,875	－	－	99.1
	11 月末	3,326	△4.7	13,152	△5.2	－	97.6
	(期末)2021年12月17日	3,443	△1.4	13,322	△4.0	－	98.9
第107期	(期首)2021年12月17日	3,403	－	13,322	－	－	98.9
	12 月末	3,533	3.8	14,000	5.1	－	98.7
	(期末)2022年 1 月17日	3,455	1.5	13,624	2.3	－	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.7.20～2022.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年9月下旬にかけて、好調なオーストラリア企業の業績動向などを受けて一時上昇する場面も見られましたが、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や中国大手不動産会社の経営不安を背景に投資家心理が悪化したことにより、下落しました。11月末にかけては、オーストラリア国内における行動制限の緩和に加えて、米国株式市場や原油価格の上昇などが好感されたものの、新型コロナウイルスのオミクロン株の発見が悪材料視されたことで、上値の重い展開となりました。当作成期末にかけては、オミクロン株の感染が世界的に拡大したものの、重症化率が比較的低いとの見方から、過度なリスク回避の動きが後退したことにより、オーストラリア株式市場は上昇しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年11月下旬にかけて、堅調な米国株式市場や原油価格の上昇が支援材料となったものの、新型コロナウイルスのデルタ株やオミクロン株の世界的な感染拡大、また中国大手不動産会社の経営不安が悪材料視されたことにより、ほぼ変わらずとなりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内でのワクチン接種の進展から経済活動の正常化期待が広まったことや、オミクロン株の重症化率が比較的低いとの見方が広まるなど、過度なリスク回避の動きが後退したことで、豪ドル円は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.7.20～2022.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（株式αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

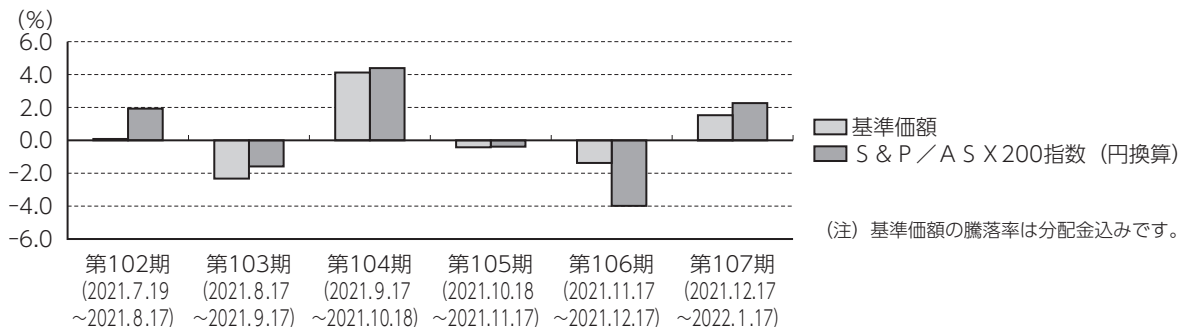
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2021年7月20日 ～2021年8月17日	2021年8月18日 ～2021年9月17日	2021年9月18日 ～2021年10月18日	2021年10月19日 ～2021年11月17日	2021年11月18日 ～2021年12月17日	2021年12月18日 ～2022年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率（％）	1.11	1.15	1.12	1.13	1.16	1.16
当期の収益（円）	37	36	37	37	33	37
当期の収益以外（円）	2	3	2	2	6	2
翌期繰越分配対象額（円）	415	411	409	406	400	398

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.25円	✓ 36.55円	✓ 37.88円	✓ 37.08円	✓ 33.96円	✓ 37.68円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 418.12	✓ 415.37	✓ 411.93	✓ 409.82	✓ 406.91	✓ 400.92
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	455.37	451.93	449.82	446.91	440.88	438.61
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	415.37	411.93	409.82	406.91	400.88	398.61

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（株式 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2021.7.20～2022.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,498円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	24	0.676	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

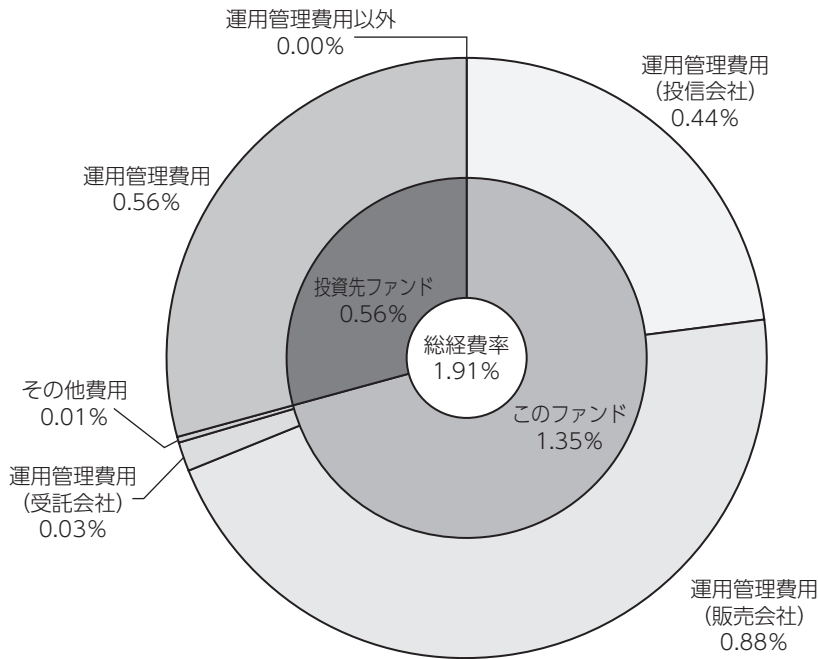
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



総経費率（①+②+③）	1.91%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

決 算 期	第 102 期 ～ 第 107 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	251,64915	9,782	986,86944	38,882

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

第 102 期				～	第 107 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	49.62746	2,000	40		AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	986.86944	38,882	39

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 107 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千□	千円	%
AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (EQUITY ALPHA CLASS)	2,712,92735	103,381	97.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第101期末			第 107 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円	千□	千□	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	98	98	99			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月17日現在

項 目	第 107 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	103,381	96.6
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.1
コール・ローン等、その他	3,517	3.3
投資信託財産総額	106,998	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月17日)、(2021年9月17日)、(2021年10月18日)、(2021年11月17日)、(2021年12月17日)、(2022年1月17日)現在

項 目	第 102 期 末	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末	第 107 期 末
(A) 資産	156,701,916円	108,406,437円	113,909,013円	110,381,653円	106,191,385円	106,998,937円
コール・ローン等	2,278,915	3,455,777	2,426,557	2,243,365	2,433,318	3,517,573
投資信託受益証券(評価額)	116,437,402	104,850,808	107,394,675	108,038,446	103,658,225	103,381,522
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,852	99,852	99,842	99,842	99,842	99,842
未 収 入 金	37,885,747	—	3,987,939	—	—	—
(B) 負債	37,550,760	1,375,238	4,471,923	1,375,627	1,352,842	1,365,672
未払金	18,942,874	—	1,993,970	—	—	—
未払収益分配金	1,336,155	1,243,257	1,234,494	1,249,003	1,232,223	1,237,350
未払解約金	17,123,634	523	1,118,387	35	—	56
未払信託報酬	147,211	129,797	122,679	123,458	116,791	123,699
その他未払費用	886	1,661	2,393	3,131	3,828	4,567
(C) 純資産総額(A－B)	119,151,156	107,031,199	109,437,090	109,006,026	104,838,543	105,633,265
元本	334,038,893	310,814,484	308,623,568	312,250,925	308,055,843	309,337,555
次期繰越損益金	△214,887,737	△203,783,285	△199,186,478	△203,244,899	△203,217,300	△203,704,290
(D) 受益権総口数	334,038,893口	310,814,484口	308,623,568口	312,250,925口	308,055,843口	309,337,555口
1口当り基準価額(C/D)	3,567円	3,444円	3,546円	3,491円	3,403円	3,415円

*第101期末における元本額は389,410,187円、当作成期間(第102期～第107期)中における追加設定元本額は9,509,825円、同解約元本額は89,582,457円です。

*第107期末の計算口数当りの純資産額は3,415円です。

*第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は203,704,290円です。

■損益の状況

第102期 自2021年7月20日 至2021年8月17日 第105期 自2021年10月19日 至2021年11月17日
第103期 自2021年8月18日 至2021年9月17日 第106期 自2021年11月18日 至2021年12月17日
第104期 自2021年9月18日 至2021年10月18日 第107期 自2021年12月18日 至2022年1月17日

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(A) 配当等収益	1,392,473円	1,266,808円	1,202,178円	1,282,243円	1,163,862円	1,256,904円
受取配当金	1,392,543	1,266,888	1,202,219	1,282,294	1,163,909	1,256,911
受取利息	—	2	—	—	—	—
支払利息	△ 70	△ 82	△ 41	△ 51	△ 47	△ 7
(B) 有価証券売買損益	△ 1,142,481	△ 3,727,916	3,316,736	△ 1,638,915	△ 2,513,454	459,830
売買益	122,044	150,747	3,324,361	1	33,913	460,248
売買損	△ 1,264,525	△ 3,878,663	△ 7,625	△ 1,638,916	△ 2,547,367	△ 418
(C) 信託報酬等	△ 148,097	△ 130,572	△ 123,411	△ 124,196	△ 117,488	△ 124,438
(D) 当期損益金(A+B+C)	101,895	△ 2,591,680	4,395,503	△ 480,868	△ 1,467,080	1,592,296
(E) 前期繰越損益金	△114,172,842	△106,950,775	△109,534,458	△106,262,366	△106,050,077	△108,552,898
(F) 追加信託差損益金	△ 99,480,635	△ 92,997,573	△ 92,813,029	△ 95,252,662	△ 94,467,920	△ 95,506,338
(配当等相当額)	(13,966,971)	(12,910,515)	(12,713,419)	(12,796,946)	(12,535,306)	(12,402,213)
(売買損益相当額)	(△113,447,606)	(△105,908,088)	(△105,526,448)	(△108,049,608)	(△107,003,226)	(△107,908,551)
(G) 合計(D+E+F)	△213,551,582	△202,540,028	△197,951,984	△201,995,896	△201,985,077	△202,466,940
(H) 収益分配金	△ 1,336,155	△ 1,243,257	△ 1,234,494	△ 1,249,003	△ 1,232,223	△ 1,237,350
次期繰越損益金(G+H)	△214,887,737	△203,783,285	△199,186,478	△203,244,899	△203,217,300	△203,704,290
追加信託差損益金	△ 99,572,415	△ 93,104,594	△ 92,878,172	△ 95,343,618	△ 94,653,769	△ 95,577,885
(配当等相当額)	(13,875,191)	(12,803,494)	(12,648,276)	(12,705,990)	(12,349,457)	(12,330,666)
(売買損益相当額)	(△113,447,606)	(△105,908,088)	(△105,526,448)	(△108,049,608)	(△107,003,226)	(△107,908,551)
繰越損益金	△115,315,322	△110,678,691	△106,308,306	△107,901,281	△108,563,531	△108,126,405

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,244,375円	1,136,236円	1,169,351円	1,158,047円	1,046,374円	1,165,803円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	13,966,971	12,910,515	12,713,419	12,796,946	12,535,306	12,402,213
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	15,211,346	14,046,751	13,882,770	13,954,993	13,581,680	13,568,016
(f) 分配金	1,336,155	1,243,257	1,234,494	1,249,003	1,232,223	1,237,350
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	13,875,191	12,803,494	12,648,276	12,705,990	12,349,457	12,330,666
(h) 受益権総口数	334,038,893口	310,814,484口	308,623,568口	312,250,925口	308,055,843口	309,337,555口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
1万口当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨αコース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200 指 数 (円 換 算)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率	(参考指数)	期 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
78 期末(2019年 8 月19日)	5,578	90	△ 6.6	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.4	931
79 期末(2019年 9 月17日)	5,947	90	8.2	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.4	1,007
80 期末(2019年10月17日)	5,831	90	△ 0.4	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.2	996
81 期末(2019年11月18日)	5,901	60	2.2	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.4	980
82 期末(2019年12月17日)	5,970	60	2.2	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.4	952
83 期末(2020年 1 月17日)	6,046	60	2.3	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.4	923
84 期末(2020年 2 月17日)	5,918	60	△ 1.1	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.1	899
85 期末(2020年 3 月17日)	3,641	60	△37.5	7,275	△38.1	65.08	△11.7	—	98.0	555
86 期末(2020年 4 月17日)	3,850	60	7.4	8,319	14.4	68.73	5.6	—	98.0	540
87 期末(2020年 5 月18日)	3,843	60	1.4	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	541
88 期末(2020年 6 月17日)	4,302	60	13.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	97.8	605
89 期末(2020年 7 月17日)	4,413	60	4.0	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.5	624
90 期末(2020年 8 月17日)	4,537	60	4.2	10,483	4.2	76.57	2.2	—	98.5	641
91 期末(2020年 9 月17日)	4,425	60	△ 1.1	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	—	98.4	599
92 期末(2020年10月19日)	4,393	60	0.6	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	—	99.1	577
93 期末(2020年11月17日)	4,569	60	5.4	11,084	7.3	76.49	2.2	—	98.6	578
94 期末(2020年12月17日)	4,795	60	6.3	11,695	5.5	78.35	2.4	—	98.4	594
95 期末(2021年 1 月18日)	4,905	60	3.5	11,985	2.5	79.86	1.9	—	98.5	589
96 期末(2021年 2 月17日)	5,046	60	4.1	12,699	6.0	82.15	2.9	—	98.6	564
97 期末(2021年 3 月17日)	5,060	60	1.5	12,879	1.4	84.41	2.8	—	98.5	532
98 期末(2021年 4 月19日)	5,189	60	3.7	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	—	98.5	541
99 期末(2021年 5 月17日)	5,200	60	1.4	13,318	0.6	84.96	1.3	—	98.6	519
100 期末(2021年 6 月17日)	5,342	60	3.9	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	—	98.4	505
101 期末(2021年 7 月19日)	5,183	60	△ 1.9	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	—	98.3	490
102 期末(2021年 8 月17日)	5,218	60	1.8	13,558	1.9	80.01	△ 1.2	—	98.5	493
103 期末(2021年 9 月17日)	5,018	60	△ 2.7	13,343	△ 1.6	80.03	0.0	—	98.6	466
104 期末(2021年10月18日)	4,998	60	0.8	13,929	4.4	84.66	5.8	—	98.4	459
105 期末(2021年11月17日)	4,989	60	1.0	13,875	△ 0.4	83.67	△ 1.2	—	98.3	450
106 期末(2021年12月17日)	4,876	60	△ 1.1	13,322	△ 4.0	81.71	△ 2.3	—	98.7	407
107 期末(2022年 1 月17日)	4,919	60	2.1	13,624	2.3	82.45	0.9	—	98.3	402

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数 (豪ドルベース) の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

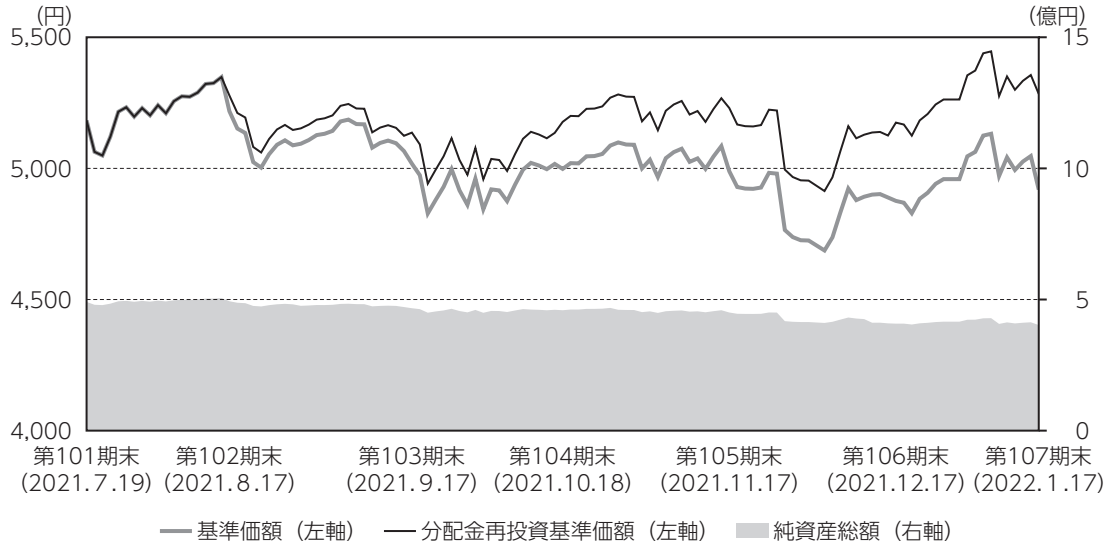
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第102期首：5,183円

第107期末：4,919円（既払分配金360円）

騰 落 率：1.9%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）については、オーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。しかし通貨オプション取引については、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A 指 数 (円換 算) (参考指数)	S X 200 (円換 算) 騰 落 率	豪ドル為替レートを 騰 落 率		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率			円	騰 落 率		
第102期	(期首)2021年 7 月19日	5,183	% －	13,302	% －	81.00	% －	% －	% 98.3
	7 月末	5,230	0.9	13,404	0.8	80.86	△0.2	－	98.5
	(期末)2021年 8 月17日	5,278	1.8	13,558	1.9	80.01	△1.2	－	98.5
第103期	(期首)2021年 8 月17日	5,218	－	13,558	－	80.01	－	－	98.5
	8 月末	5,108	△2.1	13,447	△0.8	80.18	0.2	－	98.5
	(期末)2021年 9 月17日	5,078	△2.7	13,343	△1.6	80.03	0.0	－	98.6
第104期	(期首)2021年 9 月17日	5,018	－	13,343	－	80.03	－	－	98.6
	9 月末	4,861	△3.1	12,941	△3.0	80.46	0.5	－	98.9
	(期末)2021年10月18日	5,058	0.8	13,929	4.4	84.66	5.8	－	98.4
第105期	(期首)2021年10月18日	4,998	－	13,929	－	84.66	－	－	98.4
	10月末	5,090	1.8	14,213	2.0	85.59	1.1	－	98.5
	(期末)2021年11月17日	5,049	1.0	13,875	△0.4	83.67	△1.2	－	98.3
第106期	(期首)2021年11月17日	4,989	－	13,875	－	83.67	－	－	98.3
	11月末	4,738	△5.0	13,152	△5.2	81.29	△2.8	－	98.3
	(期末)2021年12月17日	4,936	△1.1	13,322	△4.0	81.71	△2.3	－	98.7
第107期	(期首)2021年12月17日	4,876	－	13,322	－	81.71	－	－	98.7
	12月末	5,046	3.5	14,000	5.1	83.42	2.1	－	98.6
	(期末)2022年 1 月17日	4,979	2.1	13,624	2.3	82.45	0.9	－	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.7.20～2022.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年9月下旬にかけて、好調なオーストラリア企業の業績動向などを受けて一時上昇する場面も見られましたが、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や中国大手不動産会社の経営不安を背景に投資家心理が悪化したことにより、下落しました。11月末にかけては、オーストラリア国内における行動制限の緩和に加えて、米国株式市場や原油価格の上昇などが好感されたものの、新型コロナウイルスのオミクロン株の発見が悪材料視されたことで、上値の重い展開となりました。当作成期末にかけては、オミクロン株の感染が世界的に拡大したものの、重症化率が比較的低いとの見方から、過度なリスク回避の動きが後退したことにより、オーストラリア株式市場は上昇しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年11月下旬にかけて、堅調な米国株式市場や原油価格の上昇が支援材料となったものの、新型コロナウイルスのデルタ株やオミクロン株の世界的な感染拡大、また中国大手不動産会社の経営不安が悪材料視されたことにより、ほぼ変わらずとなりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内でのワクチン接種の進展から経済活動の正常化期待が広まったことや、オミクロン株の重症化率が比較的低いとの見方が広まるなど、過度なリスク回避の動きが後退したことで、豪ドル円は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.7.20～2022.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（通貨αクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

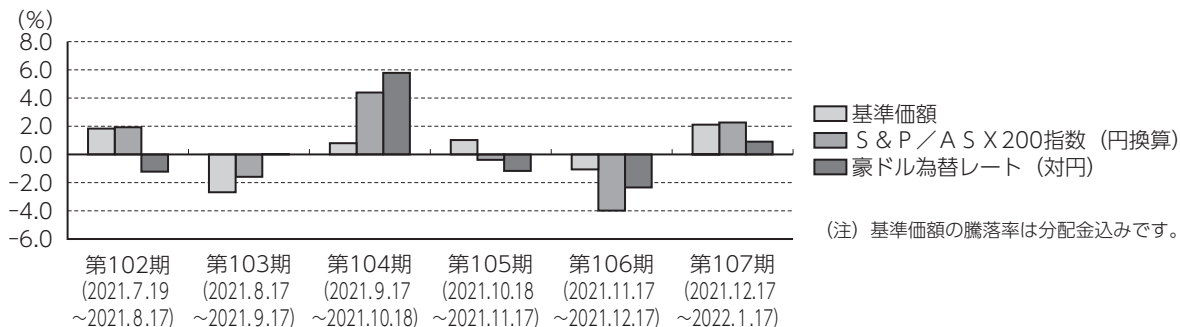
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2021年7月20日 ～2021年8月17日	2021年8月18日 ～2021年9月17日	2021年9月18日 ～2021年10月18日	2021年10月19日 ～2021年11月17日	2021年11月18日 ～2021年12月17日	2021年12月18日 ～2022年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率（％）	1.14	1.18	1.19	1.19	1.22	1.21
当期の収益（円）	56	53	51	52	48	55
当期の収益以外（円）	3	6	8	7	11	4
翌期繰越分配対象額（円）	804	798	789	781	770	765

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「配分準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 56.44円	✓ 53.13円	✓ 51.47円	✓ 52.18円	✓ 48.68円	✓ 55.17円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 808.42	✓ 804.88	✓ 798.08	✓ 789.56	✓ 781.74	✓ 770.45
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	864.87	858.02	849.56	841.74	830.43	825.62
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	804.87	798.02	789.56	781.74	770.43	765.62

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（通貨 α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と通貨オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2021.7.20～2022.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.673%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,024円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.676	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

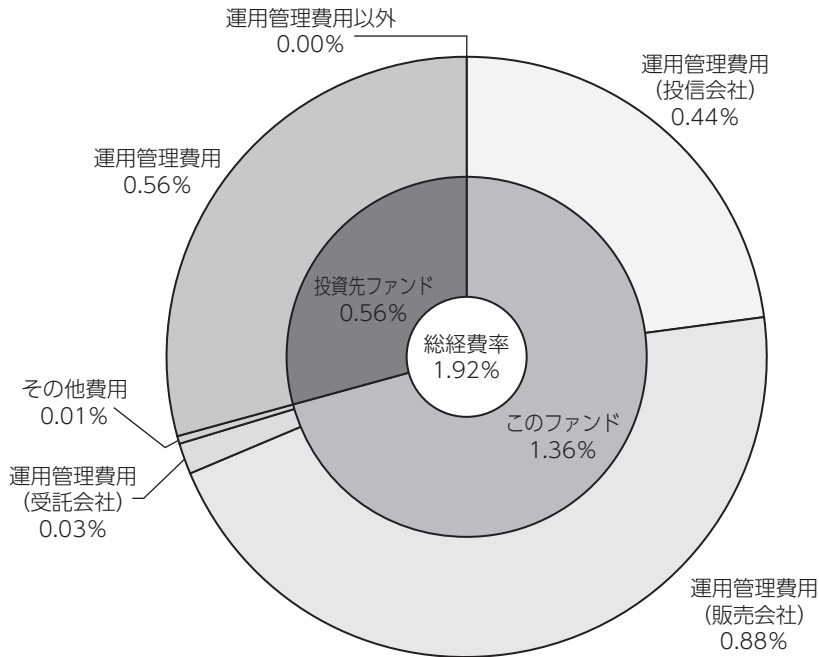
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率（①+②+③）	1.92%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

決 算 期	第 102 期 ～ 第 107 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	591.47638	31,330	1,858.03721	97,705

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

第 102 期				第 107 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円	AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	千□ 1,858.03721	千円 97,705	円 52

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 107 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (CURRENCY ALPHA CLASS)	千□ 7,503.00574	千円 395,971	% 98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第101期末			第 107 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 98	千□ 98	千円 99			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月17日現在

項 目	第 107 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 395,971	% 97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	12,040	3.0
投資信託財産総額	408,111	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月17日)、(2021年9月17日)、(2021年10月18日)、(2021年11月17日)、(2021年12月17日)、(2022年1月17日)現在

項 目	第 102 期 末	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末	第 107 期 末
(A) 資産	499,602,129円	474,408,607円	465,583,693円	456,423,658円	414,982,194円	408,111,512円
コール・ローン等	13,364,841	13,827,201	13,831,437	13,376,333	12,277,251	12,040,543
投資信託受益証券(評価額)	486,137,436	460,481,554	451,652,414	442,947,483	402,605,101	395,971,127
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	99,852	99,852	99,842	99,842	99,842	99,842
(B) 負債	6,206,814	7,616,502	6,456,539	5,939,863	7,004,136	5,406,747
未払収益分配金	5,673,457	5,581,413	5,511,777	5,417,609	5,019,887	4,912,138
未払解約金	—	1,477,751	407,890	—	1,490,855	22
未払信託報酬	530,139	550,776	527,109	509,404	477,648	475,958
その他未払費用	3,218	6,562	9,763	12,850	15,746	18,629
(C) 純資産総額(A－B)	493,395,315	466,792,105	459,127,154	450,483,795	407,978,058	402,704,765
元本	945,576,238	930,235,595	918,629,512	902,934,879	836,647,971	818,689,833
次期繰越損益金	△452,180,923	△463,443,490	△459,502,358	△452,451,084	△428,669,913	△415,985,068
(D) 受益権総口数	945,576,238口	930,235,595口	918,629,512口	902,934,879口	836,647,971口	818,689,833口
1万口当り基準価額(C/D)	5,218円	5,018円	4,998円	4,989円	4,876円	4,919円

*第101期末における元本額は946,918,499円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は9,068,264円、同解約元本額は137,296,930円です。

*第107期末の計算口数当りの純資産額は4,919円です。

*第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は415,985,068円です。

■損益の状況

第102期 自2021年7月20日 至2021年8月17日 第105期 自2021年10月19日 至2021年11月17日
 第103期 自2021年8月18日 至2021年9月17日 第106期 自2021年11月18日 至2021年12月17日
 第104期 自2021年9月18日 至2021年10月18日 第107期 自2021年12月18日 至2022年1月17日

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(A) 配当等収益	5,655,484円	5,497,368円	5,259,090円	5,224,238円	4,553,925円	4,774,614円
受取配当金	5,655,715	5,497,566	5,259,252	5,224,435	4,554,144	4,774,694
受取利息	—	1	—	1	2	—
支払利息	△ 231	△ 199	△ 162	△ 198	△ 221	△ 80
(B) 有価証券売買損益	3,832,353	△ 17,959,623	△ 1,055,470	△ 93,689	△ 8,487,512	4,094,286
売買益	3,828,334	220,284	104,391	123,199	577,726	4,449,713
売買損	4,019	△ 18,179,907	△ 1,159,861	△ 216,888	△ 9,065,238	△ 355,427
(C) 信託報酬等	△ 533,357	△ 554,120	△ 530,310	△ 512,491	△ 480,544	△ 478,841
(D) 当期損益(A+B+C)	8,954,480	△ 13,016,375	3,673,310	4,618,058	△ 4,414,131	8,390,059
(E) 前期繰越損益金	△161,620,603	△155,236,890	△170,608,733	△168,486,396	△155,986,942	△160,620,482
(F) 追加信託差損益金	△293,841,343	△289,608,812	△287,055,158	△283,165,137	△263,248,953	△258,842,507
(配当等相当額)	(76,442,512)	(74,873,015)	(73,314,311)	(71,292,307)	(65,404,704)	(63,076,042)
(売買損益相当額)	(△370,283,855)	(△364,481,827)	(△360,369,469)	(△354,457,444)	(△328,653,657)	(△321,918,549)
(G) 合計(D+E+F)	△446,507,466	△457,862,077	△453,990,581	△447,033,475	△423,650,026	△411,072,930
(H) 収益分配金	△ 5,673,457	△ 5,581,413	△ 5,511,777	△ 5,417,609	△ 5,019,887	△ 4,912,138
次期繰越損益金(G+H)	△452,180,923	△463,443,490	△459,502,358	△452,451,084	△428,669,913	△415,985,068
追加信託差損益金	△294,177,251	△290,246,977	△287,838,155	△283,870,999	△264,195,459	△259,237,839
(配当等相当額)	(76,106,604)	(74,234,850)	(72,531,314)	(70,586,445)	(64,458,198)	(62,680,710)
(売買損益相当額)	(△370,283,855)	(△364,481,827)	(△360,369,469)	(△354,457,444)	(△328,653,657)	(△321,918,549)
繰越損益金	△158,003,672	△173,196,513	△171,664,203	△168,580,085	△164,474,454	△156,747,229

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,337,549円	4,943,248円	4,728,780円	4,711,747円	4,073,381円	4,516,806円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	76,442,512	74,873,015	73,314,311	71,292,307	65,404,704	63,076,042
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	81,780,061	79,816,263	78,043,091	76,004,054	69,478,085	67,592,848
(f) 分配金	5,673,457	5,581,413	5,511,777	5,417,609	5,019,887	4,912,138
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	76,106,604	74,234,850	72,531,314	70,586,445	64,458,198	62,680,710
(h) 受益権総口数	945,576,238口	930,235,595口	918,629,512口	902,934,879口	836,647,971口	818,689,833口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
1万口当たり分配金（税込み）	60円	60円	60円	60円	60円	60円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

株式&通貨ツインαコース

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P / A S X 200 指 数 (円 換 算)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 金 分 配 金	期 中 率 騰 落 率	(参考指数)	期 中 率 騰 落 率	(参考指数)	期 中 率 騰 落 率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
78 期末(2019年 8 月19日)	2,793	45	△ 6.2	10,328	△ 8.4	72.15	△ 5.1	—	98.5	9,146
79 期末(2019年 9 月17日)	2,938	45	6.8	11,074	7.2	74.25	2.9	—	98.7	9,434
80 期末(2019年10月17日)	2,896	45	0.1	11,112	0.3	73.81	△ 0.6	—	99.3	9,099
81 期末(2019年11月18日)	2,918	30	1.8	11,266	1.4	74.20	0.5	—	98.7	9,024
82 期末(2019年12月17日)	2,943	30	1.9	11,527	2.3	75.30	1.5	—	98.5	8,844
83 期末(2020年 1 月17日)	2,968	30	1.9	11,973	3.9	76.08	1.0	—	98.7	8,771
84 期末(2020年 2 月17日)	2,878	30	△ 2.0	11,749	△ 1.9	73.73	△ 3.1	—	98.7	8,266
85 期末(2020年 3 月17日)	1,828	30	△35.4	7,275	△38.1	65.08	△11.7	—	97.9	5,155
86 期末(2020年 4 月17日)	1,927	30	7.1	8,319	14.4	68.73	5.6	—	99.5	5,322
87 期末(2020年 5 月18日)	1,933	30	1.9	8,320	0.0	68.88	0.2	—	98.4	5,316
88 期末(2020年 6 月17日)	2,087	30	9.5	9,807	17.9	73.85	7.2	—	98.5	5,659
89 期末(2020年 7 月17日)	2,144	30	4.2	10,060	2.6	74.89	1.4	—	98.6	5,740
90 期末(2020年 8 月17日)	2,192	30	3.6	10,483	4.2	76.57	2.2	—	98.6	5,700
91 期末(2020年 9 月17日)	2,154	30	△ 0.4	10,171	△ 3.0	76.41	△ 0.2	—	98.5	5,556
92 期末(2020年10月19日)	2,139	30	0.7	10,327	1.5	74.81	△ 2.1	—	98.9	5,439
93 期末(2020年11月17日)	2,205	30	4.5	11,084	7.3	76.49	2.2	—	98.7	5,522
94 期末(2020年12月17日)	2,251	30	3.4	11,695	5.5	78.35	2.4	—	100.3	5,477
95 期末(2021年 1 月18日)	2,267	30	2.0	11,985	2.5	79.86	1.9	—	99.7	5,391
96 期末(2021年 2 月17日)	2,318	30	3.6	12,699	6.0	82.15	2.9	—	98.8	5,460
97 期末(2021年 3 月17日)	2,309	30	0.9	12,879	1.4	84.41	2.8	—	98.6	5,380
98 期末(2021年 4 月19日)	2,366	30	3.8	13,236	2.8	83.85	△ 0.7	—	98.6	5,460
99 期末(2021年 5 月17日)	2,362	30	1.1	13,318	0.6	84.96	1.3	—	99.1	5,319
100 期末(2021年 6 月17日)	2,403	30	3.0	13,918	4.5	84.32	△ 0.8	—	98.7	5,326
101 期末(2021年 7 月19日)	2,332	30	△ 1.7	13,302	△ 4.4	81.00	△ 3.9	—	98.7	5,062
102 期末(2021年 8 月17日)	2,321	30	0.8	13,558	1.9	80.01	△ 1.2	—	98.6	4,970
103 期末(2021年 9 月17日)	2,243	30	△ 2.1	13,343	△ 1.6	80.03	0.0	—	98.6	4,714
104 期末(2021年10月18日)	2,234	30	0.9	13,929	4.4	84.66	5.8	—	98.7	4,599
105 期末(2021年11月17日)	2,213	30	0.4	13,875	△ 0.4	83.67	△ 1.2	—	98.8	4,390
106 期末(2021年12月17日)	2,168	30	△ 0.7	13,322	△ 4.0	81.71	△ 2.3	—	98.8	4,274
107 期末(2022年 1 月17日)	2,177	30	1.8	13,624	2.3	82.45	0.9	—	98.6	4,283

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数（円換算）は、S & P / A S X 200指数（豪ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P / A S X 200指数（豪ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

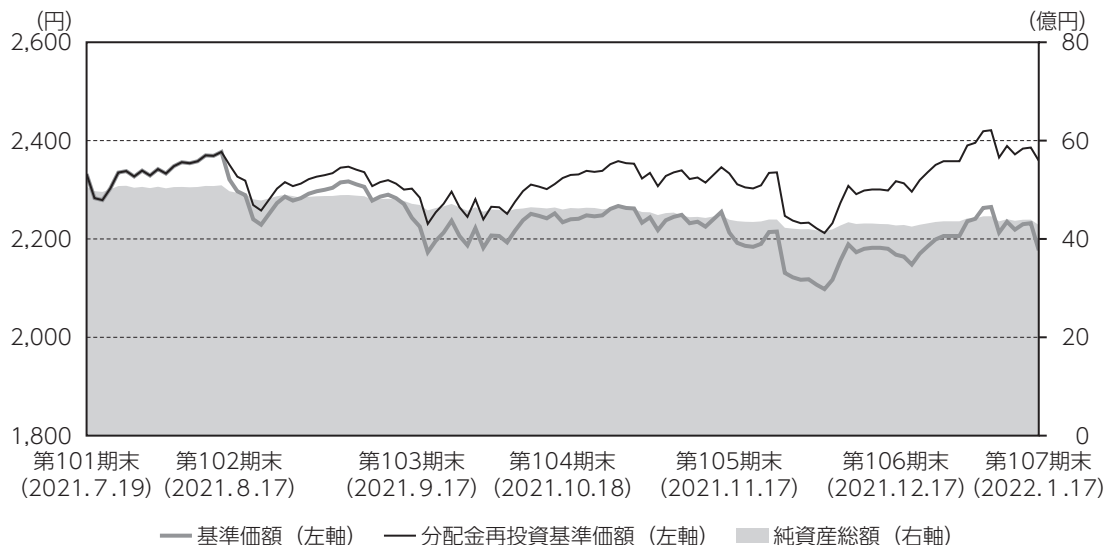
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第102期首：2,332円

第107期末：2,177円（既払分配金180円）

騰落率：1.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

主にオーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）に投資した結果、オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）については、オーストラリア株式への投資と株式および通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、株価が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラスに働き、上昇しました。しかしオプション取引については、株式オプション取引と通貨オプション取引ともにマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-ダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A 指 数 (円換 算) (参考指数)	S X 200 (円換 算) 騰 落 率	豪ドル為替レートを (参考指数)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率			円	騰 落 率		
第102期	(期首)2021年 7 月19日	2,332	% －	13,302	% －	81.00	% －	% －	% 98.7
	7 月末	2,339	0.3	13,404	0.8	80.86	△0.2	－	99.1
	(期末)2021年 8 月17日	2,351	0.8	13,558	1.9	80.01	△1.2	－	98.6
第103期	(期首)2021年 8 月17日	2,321	－	13,558	－	80.01	－	－	98.6
	8 月末	2,292	△1.2	13,447	△0.8	80.18	0.2	－	98.6
	(期末)2021年 9 月17日	2,273	△2.1	13,343	△1.6	80.03	0.0	－	98.6
第104期	(期首)2021年 9 月17日	2,243	－	13,343	－	80.03	－	－	98.6
	9 月末	2,187	△2.5	12,941	△3.0	80.46	0.5	－	99.1
	(期末)2021年10月18日	2,264	0.9	13,929	4.4	84.66	5.8	－	98.7
第105期	(期首)2021年10月18日	2,234	－	13,929	－	84.66	－	－	98.7
	10月末	2,262	1.3	14,213	2.0	85.59	1.1	－	98.7
	(期末)2021年11月17日	2,243	0.4	13,875	△0.4	83.67	△1.2	－	98.8
第106期	(期首)2021年11月17日	2,213	－	13,875	－	83.67	－	－	98.8
	11月末	2,122	△4.1	13,152	△5.2	81.29	△2.8	－	98.9
	(期末)2021年12月17日	2,198	△0.7	13,322	△4.0	81.71	△2.3	－	98.8
第107期	(期首)2021年12月17日	2,168	－	13,322	－	81.71	－	－	98.8
	12月末	2,236	3.1	14,000	5.1	83.42	2.1	－	98.7
	(期末)2022年 1 月17日	2,207	1.8	13,624	2.3	82.45	0.9	－	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021.7.20~2022.1.17)

■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、当作成期首から2021年9月下旬にかけて、好調なオーストラリア企業の業績動向などを受けて一時上昇する場面も見られましたが、新型コロナウイルスのデルタ株の感染拡大や中国大手不動産会社の経営不安を背景に投資家心理が悪化したことにより、下落しました。11月末にかけては、オーストラリア国内における行動制限の緩和に加えて、米国株式市場や原油価格の上昇などが好感されたものの、新型コロナウイルスのオミクロン株の発見が悪材料視されたことで、上値の重い展開となりました。当作成期末にかけては、オミクロン株の感染が世界的に拡大したものの、重症化率が比較的低いとの見方から、過度なリスク回避の動きが後退したことにより、オーストラリア株式市場は上昇しました。

■為替相場

豪ドルは対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2021年11月下旬にかけて、堅調な米国株式市場や原油価格の上昇が支援材料となったものの、新型コロナウイルスのデルタ株やオミクロン株の世界的な感染拡大、また中国大手不動産会社の経営不安が悪材料視されたことにより、ほぼ変わらずとなりました。当作成期末にかけては、オーストラリア国内でのワクチン接種の進展から経済活動の正常化期待が広まったことや、オミクロン株の重症化率が比較的低いとの見方が広まるなど、過度なリスク回避の動きが後退したことで、豪ドル円は上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態では、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2021.7.20~2022.1.17)

■当ファンド

オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資しました。オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■オーストラリア高配当株α・ファンド（ツインαクラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざしました。

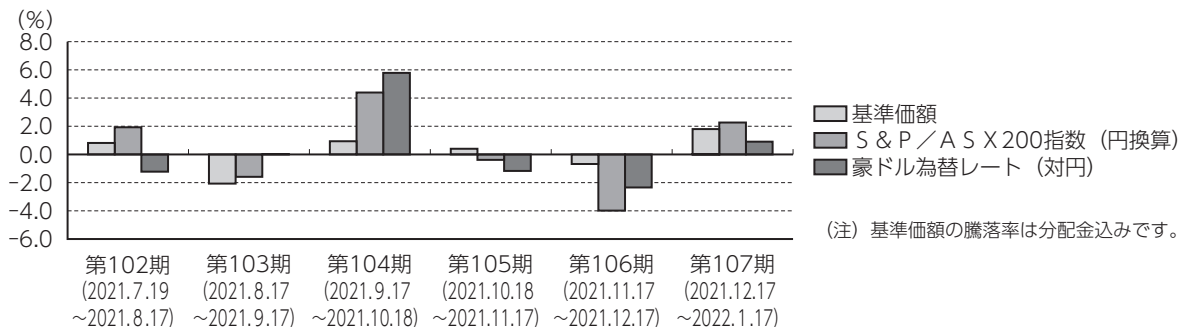
■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数はオーストラリア株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しています。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2021年7月20日 ～2021年8月17日	2021年8月18日 ～2021年9月17日	2021年9月18日 ～2021年10月18日	2021年10月19日 ～2021年11月17日	2021年11月18日 ～2021年12月17日	2021年12月18日 ～2022年1月17日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（％）	1.28	1.32	1.33	1.34	1.36	1.36
当期の収益（円）	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	317	324	331	337	341	348

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 38.00円	✓ 37.12円	✓ 36.08円	✓ 36.54円	✓ 34.23円	✓ 36.27円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	68.54	69.71	70.73	71.81	73.13	74.27
(d) 分配準備積立金	241.30	248.13	254.24	259.25	264.49	267.59
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	347.85	354.98	361.07	367.61	371.86	378.14
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	317.85	324.98	331.07	337.61	341.86	348.14

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資します。通常の状態、オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■オーストラリア高配当株 α ・ファンド（ツイン α クラス）

相対的に予想配当利回りの高いオーストラリア株式への投資と株式オプション取引を組み合わせた株式カバードコール戦略に加えて、通貨オプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、高水準のインカム性収益の確保と信託財産の成長をめざします。

引き続き、厳しい経済環境下においても安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤をもつ企業に注目しています。また、その中でも配当という形での株主還元を重視する企業を中心に投資していく所存です。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2021.7.20～2022.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	15円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,242円です。
(投 信 会 社)	(5)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	15	0.674	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

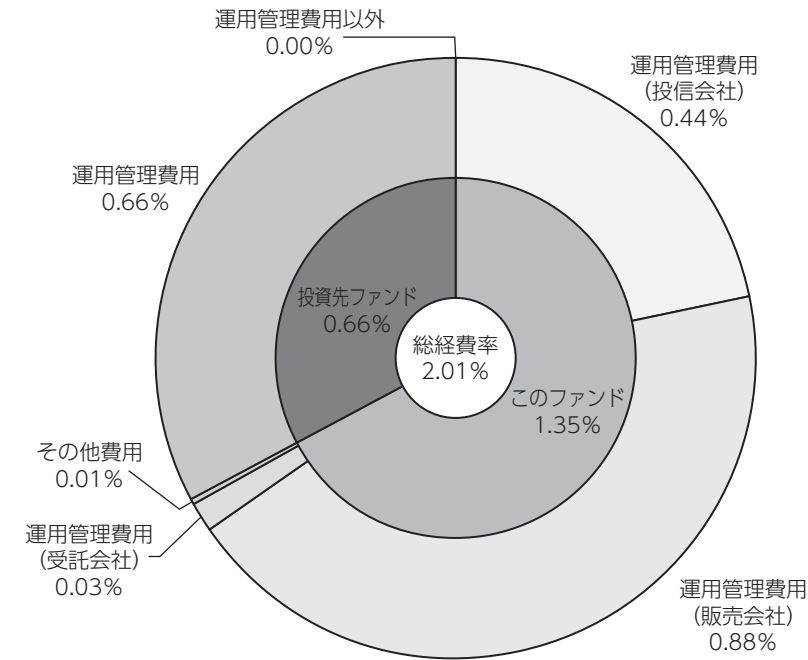
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



総経費率（①+②+③）	2.01%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

（注1）①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

決 算 期	第 102 期 ～ 第 107 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
外国（邦貨建）	22,109,18068	479,963	38,822.89415	848,425

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2021年7月20日から2022年1月17日まで)

第 102 期				～	第 107 期			
買		付			売		付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価		銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千□	千円	円			千□	千円	円
					AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS) (ケイマン諸島)	38,822.89415	848,425	21

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 107 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) AUSTRALIAN HIGH DIVIDEND EQUITY ALPHA (TWIN ALPHA CLASS)	千□ 199,097.27217	千円 4,221,260	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第101期末	第 107 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千□ 982	千□ 982	千円 998

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年1月17日現在

項 目	第 107 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 4,221,260	% 97.0
ダイワ・マネー・マザーファンド	998	0.0
コール・ローン等、その他	127,818	3.0
投資信託財産総額	4,350,077	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月17日)、(2021年9月17日)、(2021年10月18日)、(2021年11月17日)、(2021年12月17日)、(2022年1月17日)現在

項 目	第 102 期 末	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末	第 107 期 末
(A) 資産	5,041,321,369円	4,788,908,117円	4,673,309,818円	4,468,666,104円	4,350,733,913円	4,350,077,553円
コール・ローン等	141,554,102	138,383,503	132,169,824	128,595,204	126,457,843	127,818,761
投資信託受益証券(評価額)	4,898,768,740	4,649,526,087	4,540,141,566	4,339,072,472	4,223,277,642	4,221,260,364
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	998,527	998,527	998,428	998,428	998,428	998,428
(B) 負債	70,830,299	74,671,042	74,262,633	78,239,841	76,276,304	66,868,185
未払収益分配金	64,253,111	63,050,599	61,767,133	59,525,291	59,150,302	59,033,383
未払解約金	1,127,849	5,977,264	7,070,153	13,524,773	12,188,659	2,630,295
未払信託報酬	5,416,325	5,576,179	5,325,885	5,059,482	4,777,929	5,014,533
その他未払費用	33,014	67,000	99,462	130,295	159,414	189,974
(C) 純資産総額(A－B)	4,970,491,070	4,714,237,075	4,599,047,185	4,390,426,263	4,274,457,609	4,283,209,368
元本	21,417,703,763	21,016,866,415	20,589,044,652	19,841,763,710	19,716,767,561	19,677,794,456
次期繰越損益金	△16,447,212,693	△16,302,629,340	△15,989,997,467	△15,451,337,447	△15,442,309,952	△15,394,585,088
(D) 受益権総口数	21,417,703,763口	21,016,866,415口	20,589,044,652口	19,841,763,710口	19,716,767,561口	19,677,794,456口
1万口当り基準価額(C/D)	2,321円	2,243円	2,234円	2,213円	2,168円	2,177円

* 第101期末における元本額は21,706,364,875円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は536,415,704円、同解約元本額は2,564,986,123円です。

* 第107期末の計算口数当りの純資産額は2,177円です。

* 第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は15,394,585,088円です。

■損益の状況

第102期 自2021年7月20日 至2021年8月17日 第105期 自2021年10月19日 至2021年11月17日
第103期 自2021年8月18日 至2021年9月17日 第106期 自2021年11月18日 至2021年12月17日
第104期 自2021年9月18日 至2021年10月18日 第107期 自2021年12月18日 至2022年1月17日

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(A) 配当等収益	86,840,221円	83,640,541円	79,663,378円	77,595,996円	72,304,864円	76,104,857円
受取配当金	86,842,585	83,642,702	79,665,396	77,597,945	72,306,510	76,105,848
受取利息	10	17	9	12	2	9
支払利息	△ 2,374	△ 2,178	△ 2,027	△ 1,961	△ 1,648	△ 1,000
(B) 有価証券売買損益	△ 42,165,223	△ 178,162,413	△ 31,758,848	△ 54,685,222	△ 96,541,797	5,166,479
売買益	546,082	2,204,853	2,276,353	1,595,872	1,068,873	5,571,889
売買損	△ 42,711,305	△ 180,367,266	△ 34,035,201	△ 56,281,094	△ 97,610,670	△ 405,410
(C) 信託報酬等	△ 5,449,339	△ 5,610,165	△ 5,358,347	△ 5,090,315	△ 4,807,048	△ 5,045,093
(D) 当期損益(A+B+C)	39,225,659	△ 100,132,037	42,546,183	17,820,459	△ 29,043,981	76,226,243
(E) 前期繰越損益金	△ 9,201,894,450	△ 9,011,657,648	△ 8,952,117,473	△ 8,609,991,120	△ 8,555,039,341	△ 8,589,694,223
(F) 追加信託差損益金	△ 7,220,290,791	△ 7,127,789,056	△ 7,018,659,044	△ 6,799,641,495	△ 6,799,076,328	△ 6,822,083,725
(配当等相当額)	(146,801,378)	(146,520,621)	(145,642,115)	(142,498,779)	(144,206,831)	(146,159,664)
(売買損益相当額)	(△ 7,367,092,169)	(△ 7,274,309,677)	(△ 7,164,301,159)	(△ 6,942,140,274)	(△ 6,943,283,159)	(△ 6,968,243,389)
(G) 合計(D + E + F)	△16,382,959,582	△16,239,578,741	△15,928,230,334	△15,391,812,156	△15,383,159,650	△15,335,551,705
(H) 収益分配金	△ 64,253,111	△ 63,050,599	△ 61,767,133	△ 59,525,291	△ 59,150,302	△ 59,033,383
次期繰越損益金(G+H)	△16,447,212,693	△16,302,629,340	△15,989,997,467	△15,451,337,447	△15,442,309,952	△15,394,585,088
追加信託差損益金	△ 7,220,290,791	△ 7,127,789,056	△ 7,018,659,044	△ 6,799,641,495	△ 6,799,076,328	△ 6,822,083,725
(配当等相当額)	(146,801,378)	(146,520,621)	(145,642,115)	(142,498,779)	(144,206,831)	(146,159,664)
(売買損益相当額)	(△ 7,367,092,169)	(△ 7,274,309,677)	(△ 7,164,301,159)	(△ 6,942,140,274)	(△ 6,943,283,159)	(△ 6,968,243,389)
分配準備積立金	533,966,050	536,488,366	536,002,782	527,394,045	529,849,500	538,914,654
繰越損益金	△ 9,760,887,952	△ 9,711,328,650	△ 9,507,341,205	△ 9,179,089,997	△ 9,173,083,124	△ 9,111,416,017

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(a) 経費控除後の配当等収益	81,390,855円	78,030,353円	74,305,012円	72,505,658円	67,497,795円	71,380,623円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	146,801,378	146,520,621	145,642,115	142,498,779	144,206,831	146,159,664
(d) 分配準備積立金	516,828,306	521,508,612	523,464,903	514,413,678	521,502,007	526,567,414
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	745,020,539	746,059,586	743,412,030	729,418,115	733,206,633	744,107,701
(f) 分配金	64,253,111	63,050,599	61,767,133	59,525,291	59,150,302	59,033,383
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	680,767,428	683,008,987	681,644,897	669,892,824	674,056,331	685,074,318
(h) 受益権総口数	21,417,703,763□	21,016,866,415□	20,589,044,652□	19,841,763,710□	19,716,767,561□	19,677,794,456□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
1 万口当り分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド
株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型） 株式αコース／通貨αコース／株式&通貨ツインαコース）は、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱーダイワ・オーストラリア高配当株α・ファンド 株式αクラス／通貨αクラス／ツインαクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2022年1月17日時点で入手しうる直近の決算分を掲載しております。

貸借対照表
2020年12月31日

		(円)
資産		
担保付スワップ投資（評価額）（簿価：¥13,674,541,332円）		6,208,604,718
未収利息		3,629,093
資産計		6,212,233,811
負債		
未払償還金		—
未払代行会社報酬		3,629,093
負債計		3,629,093
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産		6,208,604,718
帰属先別純資産	ツインαクラス受益証券	5,470,767,160
	通貨αクラス受益証券	596,217,939
	株式αクラス受益証券	141,619,619
発行済受益証券数	ツインαクラス受益証券	235,794,917.09
	通貨αクラス受益証券	11,621,057.32
	株式αクラス受益証券	3,735,097.15
受益証券一口当り純資産	ツインαクラス受益証券	23.201
	通貨αクラス受益証券	51.305
	株式αクラス受益証券	37.916

包括利益計算書

2020年12月31日終了年度

(円)

収入	
適正価値で損益通算後の金融商品純損益	
手数料収入	1,438,072,365
担保付スワップ投資純損益	(2,378,506,986)
投資純利益	<u>(940,434,621)</u>
収入計	<u>(940,434,621)</u>
営業費用	44,596,530
営業費用計	<u>44,596,530</u>
金融費用控除前営業損益	<u>(985,031,151)</u>
償還可能受益証券の保有者への分配金	<u>(1,393,475,835)</u>
償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産変動額（分配金支払後）	<u>(2,378,506,986)</u>

当トラストが保有していた担保付スワップ投資

2020年12月31日時点

	簿価 (円)	評価額 (円)
ツインαクラス受益証券	12,613,715,973	5,470,767,160
通貨αクラス受益証券	804,026,163	596,217,939
株式αクラス受益証券	256,799,196	141,619,619
	<u>13,674,541,332</u>	<u>6,208,604,718</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・オーストラリア高配当株 α （毎月分配型） 株式 α コース／通貨 α コース／株式&通貨ツイン α コース）が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第107期の決算日（2022年1月17日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2021年7月20日～2022年1月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年1月17日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2020年12月10日～2021年12月9日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

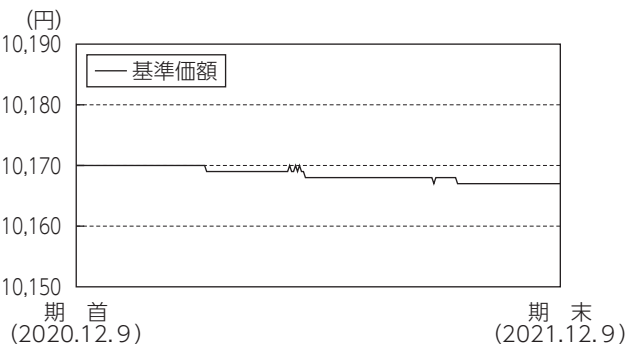
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2020年12月9日	10,170	—	—
12月末	10,170	0.0	—
2021年 1 月末	10,170	0.0	—
2 月末	10,170	0.0	—
3 月末	10,169	△0.0	—
4 月末	10,169	△0.0	—
5 月末	10,169	△0.0	—
6 月末	10,168	△0.0	—
7 月末	10,168	△0.0	—
8 月末	10,168	△0.0	—
9 月末	10,167	△0.0	—
10月末	10,167	△0.0	—
11月末	10,167	△0.0	—
(期末)2021年12月9日	10,167	△0.0	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,170円 期末：10,167円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】
コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況
当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。
◆ ポートフォリオについて
流動性や資産の安全性に配慮し、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。
◆ ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

その他有価証券

(2020年12月10日から2021年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国内短期社債等	110,997,998	111,997,992 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	6,782,301	100.0
投資信託財産総額	6,782,301	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,782,301,285円
コール・ローン等	6,782,301,285
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	6,782,301,285
元本	6,671,046,264
次期繰越損益金	111,255,021
(D) 受益権総口数	6,671,046,264口
1万口当り基準価額(C／D)	10,167円

* 期首における元本額は66,337,383,629円、当作成期間中における追加設定元本額は24,638,372,125円、同解約元本額は84,304,709,490円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ日経225－シフト11－ 2019－03 (適格機関投資家専用)	531,632,690円
ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,965,311,641円
ターゲット・リターン (コスト控除後3%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	129,833円
ターゲット・リターン (コスト控除後5%) 資金拠出用ファンド (適格機関投資家専用)	160,914円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－A1新時代－ (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド－A1新時代－ (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ／“RICI” [®] コモディティ・ファンド	2,074,249円
US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり／年1回決算型)	1,676円
US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし／年1回決算型)	1,330円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり／毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし／毎月分配型)	983円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,082,297,237円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ／フィデリティ北米株ファンド－パラダイムシフト	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ	80,587,771円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円

ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－ (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	979,761円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,167円です。

■損益の状況

当期 自2020年12月10日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,353,364円
受取利息	34,938
支払利息	△ 6,388,302
(B) その他費用	△ 30,929
(C) 当期損益金(A+B)	△ 6,384,293
(D) 前期繰越損益金	1,128,566,954
(E) 解約差損益金	△1,428,973,017
(F) 追加信託差損益金	418,045,377
(G) 合計(C+D+E+F)	111,255,021
次期繰越損益金(G)	111,255,021

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。